パッカー車による
ごみ収集

サンポート

# リサイクル等の推進

今日の社会は、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動により、環境に大きな負荷を与え続け、ごみ問題・環境汚染・地球温暖化等さまざまな環境問題が世界中で発生しています。この問題解決のためには、私たちの生活や社会全体を再度見直すことで、より環境にやさしい循環型社会の構築が求められています。

ノーポイ運動

経済と環境が両立できる社会を実現するために、本町では、特に分別収集によるリサイクルの推進等のごみ問題に力を入れています。

ごみ減量化や資源化の具体的な取り組みとして、20年前より他町村に先駆けてのごみ袋の有料化、容器包装リサイクル法に対応した更なるごみの細分化、古紙古布類の無料収集、生ごみ処理機購入補助、ＰＴＡ等が行う集団回収への助成などを行っています。

また、私たちが住んでいる大刀洗町をより良い環境にしていくために、５月の「環境美化の日」と10月の「ノーポイ運動」と年間２回の環境美化運動を実施し、町民多数の参加によるごみ、空き缶拾い等を行っています。

ごみ処理施設については、周辺市町村との広域行政（甘木・朝倉・三井環境施設組合）で整備を図り、平成15年に廃棄物再生処理センター（サン・ポート）が完成いたしました。

この施設は最新鋭の処理システムを導入しており、環境保全、公害防止にも万全を期しています。本町では、この素晴らしい施設を最大限に活用して、資源循環型社会の実現を目指して行きます。

# 水を大切にした生活環境の創造

下水道工事

小石原川

両筑衛生施設組合

下水道事業は、快適な住環境づくり、公衆衛生の向上及び河川や海などの公共用水域の水質保全に役立つことを目的に整備してきました。

下水道が整備されると、次のようなメリットがあります。

・水洗トイレが使用できます。（悪臭がなく、衛生的で快適な暮らしが出来ます。）

・町がきれいになり住みやすくなります。（溝等がきれいになり、ハエ・蚊の発生を防ぎ、伝染病の予防に役立ちます。）

・公共用水域がきれいになります。（生活雑排水が河川等に流れ込まないので、水質がよくなります。）

現在の下水道整備状況は、農業集落排水事業（大堰・栄田地区）が平成4年から工事に着手し、平成7年9月から供用を開始しております。

また、公共下水道事業については、平成7年から町内の下水道管路工事に着手しています。周辺の二市一町が使用する下水処理場を福岡県が整備しています。平成16年3月に一部供用を開始し、残りの地区も平成18年4月より供用開始予定です。

これにより大刀洗町はほぼ全町供用開始となります。なお、平成17年3月末の下水道普及率は約50％（水洗化率・農業集落排水事業90％、公共下水道事業40％）となっています。